

# 四倉新報

二月發行日 毎月十日 廿五日  
編輯部 小林庫二  
發行所 四倉新報社  
印刷所 福島縣石城郡平田町三十一番地  
本紙定價 一月十錢  
月別拾錢年(二圓)

## 普通選挙の完全なる精神を如實に發揮せよ

### 有権者諸君

選挙の期日は愈々目前は比較的容易である、我々に迫り、國民の政治的關心政黨政治が今までの如く邪も、此れに伴つて次第に熱道をたどり来た一半の原因を加へ、白熱的の昂奮状態は無責任極まる職業的代議士となつてきた。

總選挙の眼目は、ヨリよき業的代議士は政黨との優先政策を標榜する政黨を利用し、今回の選挙に、同時にヨリよき國民の選挙にも多数立候補したの代表者を選出する一事に盡されるのである。

誠この一事に盡さるのであるからして、有権者諸君於て速記録に残す事の出来の清き一票の行使は實に重ざりし謂言、無腦者でない大であるが故に、候補者のも、前代議士と云ふ優先的適、不適を充分に鑑分し其關係から政黨より公認され義務を全うす可きである。

候補者の政見を吟味する事らむとあるではないか。以上に必要なるは、候補者パンを得が爲めに代議士の人格である、其の候補者たるむとするが如き者に、過去の現在の個人的並に民意を代表しよく心命を賭公人的の経歴は何うであらして戦ふと云ふ、力なり信念なりがある筈が無い名譽

若し、其候補者が前代議士や利慾を目的とする不純であるならば、代議士としての態度の立候補は斷乎と彼れの適、不適を決するして拒絶すべきである感情様である。

や情實を捨て、全く虚心平氣に最も適當なる候補者を選定し、國民生活の安定を期す可きである。

選挙は國民として當然なすべき義務であり、且又可き處の權利である、況んや政治は生活なりといはれる今日に於て棄権するが如きは立憲治下の國民として最大なる恥辱である。

## 第三區の政爭大激戦

### 木村候補の大苦戦

あますところ僅一週間となり各候補者は死者狂の運動を開始し言論に文書に大激戦を演じて居る木村候補は最初石城政友會満場一致にて推挙せられたるだけに比較的安んじた立場なりしに松本候補との地盤の協調破れし爲め松本派は非常の勢で木村の地盤に侵入し來り盛んに荒し廻る故四五千票は蠶食さるゝであらう。又反對黨の比佐、氏家の巨敵の爲めに南北より俠撃せられ中立の山田、佐川の爲め東西より侵入されむとしく木村候補は大苦戦の有様である。

## 政界の現状に鑑み人格高潔なる木村清治君を推薦す

新妻盛

第五十四議會は反對黨の横に展開せられたのである我暴なる不信認案の提出に依り田中首相は信を國民に問われんとする公明なる措置に出た事は寧ろ當然の歸結を謂つた事ばならぬ、而して議會は遂に解散せられ茲に於て我々國民が多年の要望たる普通第一回の衆議院議員選挙が今や數日を出ずして行郷黨の先輩として人格手腕を以て第一号者たる木村清治君を候補者として推薦した愈國民として訓練の時が来たのであるが諸君は如何に此貴重なる權利を行使せんとするか諸君の清き一票は従來の如き情實全權に汚辟せらるゝことなく眞に選挙の公正を期し、飽選選挙界の革新を圖らねばならぬ。熟々、現代の政界を瞥見するに腐敗墮落其極に達し身は苟も國民の代表たる一國選良の地位に在りながら眼中国家國民なく徒に私利私慾に眩惑し利權に汲々として惟れ日も足らざる職業的政治家が簇出せられつゝ、あるのではないか、彼等は毫末も政治的良心なく反て國家を毒するに至りては寔に國家の爲慨嘆に堪へないの

## 立憲政友會公認候補者 木村清治氏を推薦す

警城青年同盟會 四倉支部長 門馬倉次郎

議會が解散になり普通第一回の代議士選挙が二月二十日に執行せらるゝ様になりました、國民は萬機公論に決すべき御聖旨に基き普選を實行するに當り世論に迷はず先づ如何なる理由に依りて議會が解散になりしかを限目して考察する必要ありものを思ひます、即ち前内閣が失政百出其企圖方針を誤れる結果金融機關の大混亂を來し又日支外交に於ても大なる失態を演じて修政黨は之を防禦せんとして不信案の提出を計畫したの政友會は單獨内閣を組織して以來彼等の云ふべき宜しと

## 諸君の批判に俟つ

菅波康太郎

政治は時代に順應して施政するものであります。を誤らざる所に良政治の聲、今回木村清治氏は政友會の公認候補者として心勝を期し現内閣の支持者たらんとすべく奮起したのであります、諸君は木村清治氏の意氣を莊とし政友會の政策に共鳴し、幾多の枝葉末説の空論に迷はされず毅然として木村清治氏の當選に努力をまかせられんことを望む次第であります。

◆民衆の代表となつて國利民福を計るのでなくて、飯が食えないから、御たすけ下さいだ。

田中首相の議會解散理由の演説は聞く者をして皆、共